

## MIDDLE1600\_4

1001: グェネスに<sup>かん</sup>関する<sup>かくじ</sup>レポートは、各自でまとめてくださいね。

1002: キューピーで<sup>きょがく</sup>巨額の<sup>そんしつ</sup>損失を出したため、<sup>だ</sup>詰問<sup>きつもん</sup>されました。

1003: 泰然<sup>たいぜん</sup>と揺るがぬ<sup>ゆ</sup>態度は、立派な<sup>たいど</sup>教授<sup>りっぱ</sup>の<sup>きょうじゅ</sup>素質<sup>そしつ</sup>です。

1004: 何故<sup>なぜ</sup>ならば、ポリュビオスの<sup>なまえ</sup>名前が<sup>おぼ</sup>覚えにくく、<sup>まぎ</sup>紛らわしいです。

1005: わたくし、ぴゅーと<sup>ふ</sup>吹く<sup>かぜ</sup>風の<sup>おと</sup>音に、何故<sup>なぜ</sup>か<sup>けんおかん</sup>嫌悪感がありますの。

1006: 優れた<sup>すぐ</sup>紺屋<sup>こうや</sup>は、艶やかな<sup>あで</sup>染め物<sup>そ</sup>を、<sup>もの</sup>ジョセフ<sup>う</sup>に売りました。

1007: イェミエさんは、まず<sup>ゆび</sup>キーボードから<sup>はな</sup>指を離してみませんか？

1008: 先程<sup>さきほど</sup>のニュースで、スプーンが<sup>ま</sup>曲がるネタをやっていました。

1009: ギュゼルはナイフを<sup>にぎ</sup>握り、<sup>わたし</sup>私<sup>む</sup>に向けて<sup>ふ</sup>ヒュンヒュン<sup>まわ</sup>振り回しました。

1010: ペラゲーヤは、<sup>はくちゅうしゆくき</sup>伯仲淑季<sup>はく</sup>での<sup>ちやうなん</sup>伯、つまり<sup>ちやうなん</sup>長男です。

1011: 弓道<sup>きゅうどう</sup>の<sup>こころえ</sup>心得が、ピエシツェに<sup>そん</sup>あったのか、<sup>そん</sup>存じませぬ。

1012: ピーチジュースの<sup>さ</sup>カップに、<sup>さぎょう</sup>ストローを<sup>たの</sup>刺す作業を頼みます。

1013: 前日<sup>ぜんじつ</sup>の<sup>やきゅう</sup>野球ですが、<sup>ひゃっきゅう</sup>百球<sup>かんぶう</sup>で<sup>あつぱ</sup>完封した<sup>あつぱ</sup>ピッチャーは、天晴れです。

1014: ポルタヴァから<sup>き</sup>来ましたが、<sup>びょうら</sup>鋌螺<sup>つく</sup>を作る<sup>しよく</sup>職に<sup>つ</sup>就くか、<sup>きもち</sup>気持ちが<sup>ゆ</sup>揺らぎます。

1015: 涼子<sup>りょうこ</sup>は<sup>す</sup>ピロコピウスが<sup>とつ</sup>好きで、<sup>やくそく</sup>嫁ぐ<sup>は</sup>約束を果たします。

1016: ギャンギャン<sup>な</sup>泣く<sup>こ</sup>子の<sup>そば</sup>傍に、<sup>おや</sup>オロオロした<sup>い</sup>親が居ます。

1017: ベビービョルンには、<sup>あか</sup>赤ん坊<sup>ぼうよう</sup>用の<sup>おもちゃ</sup>玩具が<sup>かずおお</sup>数多くあります。

1018: ちゃぶ台<sup>だいがえ</sup>返しに<sup>げきど</sup>激怒した<sup>ぬ</sup>フューガーが、<sup>しかた</sup>クラブを<sup>しかた</sup>抜けても仕方ない。

1019: ツィーゲルバウアーの<sup>すど</sup>鋭い<sup>ことば</sup>言葉が、<sup>しん</sup>心の<sup>ぞう</sup>臓を<sup>えぐ</sup>抉ります。

1020: 沖積地<sup>ちゅうせきち</sup>の<sup>いずこ</sup>何処から、<sup>いぬ</sup>犬の<sup>な</sup>クーンという<sup>ごえ</sup>鳴き声<sup>き</sup>が聞こえます。

1021: 僕<sup>ぼく</sup>はティモシイを推<sup>お</sup>しましたが、一<sup>いっしゅう</sup>蹴<sup>しゅう</sup>されましたか。

1022: ミツキエヴィッチが、戦<sup>いくさ</sup>に反<sup>はん</sup>対<sup>たい</sup>した証<sup>しょう</sup>拠<sup>こ</sup>はありますか？

1023: 給<sup>きゅう</sup>食<sup>しょく</sup>の昆布<sup>こんぶ</sup>を食<sup>た</sup>べたデュキャナンが、郷土<sup>きょうど</sup>料<sup>りょう</sup>理<sup>り</sup>を思<sup>おも</sup>い出<sup>だ</sup>しました。

1024: クェツァランのジェラルドは、派閥<sup>はばつ</sup>に所<sup>しょ</sup>属<sup>ぞく</sup>せずやってくそうです。

1025: ご存<sup>ぞん</sup>じでしょうが、僕<sup>ぼく</sup>はかつて、ガヴァッツァーナの獄卒<sup>ごくそつ</sup>でした。

1026: ありゃ、ボスニアヘルツェゴビナの首都<sup>しゅと</sup>は、サラエボでしたか。

1027: まあ、オバジェでは、髭<sup>ひげ</sup>を生<sup>は</sup>やしても目<sup>め</sup>立<sup>だ</sup>たないですけど。

1028: 白<sup>びやく</sup>夜<sup>や</sup>は初<sup>はじ</sup>めてですが、奇<sup>き</sup>妙<sup>みょう</sup>な気<sup>き</sup>持<sup>も</sup>ちになりますね。

1029: 地図<sup>ちず</sup>を見る限<sup>み</sup>りグレヒェンの横<sup>よこ</sup>ですが、ちよっと分<sup>わ</sup>かりにくいかも。

1030: エレベーターで昇<sup>のぼ</sup>ると、テラスからビューティフルな景<sup>け</sup>色<sup>しき</sup>が広<sup>ひろ</sup>がります。

1031: チュバは、傘<sup>さん</sup>寿<sup>じゅ</sup>の贈<sup>おく</sup>り物<sup>もの</sup>に、山吹<sup>やまぶき</sup>色<sup>いろ</sup>の花<sup>はな</sup>束<sup>たば</sup>を選<sup>えら</sup>びました。

1032: パヤクアルンの技巧<sup>ぎこう</sup>は神<sup>かみ</sup>業<sup>わざ</sup>で、倒<sup>たお</sup>したきや寝<sup>ね</sup>首<sup>くび</sup>をかくしか無<sup>な</sup>さげだわ。

1033: 突<sup>とつ</sup>然<sup>ぜん</sup>のプロポーズに、トゥファイルの瞳<sup>ひとみ</sup>が潤<sup>うる</sup>みました。

1034: ツォヌプに関する予言<sup>かん</sup>は、的<sup>よげん</sup>外<sup>まとはず</sup>れだったみたいだね。

1035: ヒューリスティックに約<sup>やっかん</sup>款<sup>つく</sup>を作るのは、無<sup>む</sup>茶<sup>ちゃ</sup>ですよ。

1036: ドウロールは、ドウニヤの姉妹<sup>しまい</sup>が誰<sup>だれ</sup>か、突<sup>つ</sup>き止<sup>と</sup>めてませんね。

1037: 別<sup>べつ</sup>に、ファミユイワさんの委<sup>い</sup>嘱<sup>しよく</sup>状<sup>じょう</sup>が無<sup>な</sup>くても、平<sup>へい</sup>気<sup>き</sup>でしたね。

1038: 奇<sup>き</sup>妙<sup>みょう</sup>な場所<sup>ばしょ</sup>に立<sup>た</sup>つゼドゥを、百<sup>ひゃく</sup>メートル先<sup>さき</sup>から狙<sup>そげき</sup>撃<sup>し</sup>し、仕留<sup>しと</sup>めました。

1039: ペーパーウェイト職<sup>しよく</sup>人<sup>にん</sup>に、憧<sup>どう</sup>憬<sup>けい</sup>の気<sup>き</sup>持<sup>も</sup>ちが芽<sup>め</sup>生<sup>ば</sup>え始<sup>はじ</sup>めました。

1040: ファミレスの側<sup>そく</sup>壁<sup>へき</sup>を跨<sup>また</sup>ぎ、キャイキャイと駄<sup>だ</sup>弁<sup>べ</sup>りが響<sup>ひび</sup>きますね。

1041: ミューズが、ミュゼのコスメで、フューシャピンクだけは拒<sup>こば</sup>みました。

1042: ひょっとすると、チャーチルの目に留まった動きには、覚えがあります。

1043: ボディビルダーのジミヤトフが、このジムで鍛えるって本当ですか？

1044: ズデニェクは、京急バスで、巨猫を脚色した巨編を執筆します。

1045: イェンシッドは郡制に反対し、最後まで戦いました。

1046: この着古したスーツは、プピヨン駅で買ったものです。

1047: テョルスヴィクの付箋に、空虚をイメージした曲を書きました。

1048: ポツニャコフは、円周率を百桁覚えてます。

1049: ピヤシナがどこかセッポが聞くと、ピッピは目を背けました。

1050: 風邪だそうなので、ミヤリクグルは二限目に遅刻してきます。

1051: 去年退去した、グヴォジクの協力が、心中に去来します。

1052: ジェルヴェーズが憂えるネタは、キャラに合わぬ突拍子の無きことですよ。

1053: ヴェチェスラフも指摘したが、辞書の増訂も妥当だなあ。

1054: そんなヒョロヒョロになっちゃって、階段下りるのも辛そうじゃない。

1055: グウエンダは克己して、ピッコロのプラクティスを再開します。

1056: クォーターの弁護士が、ニョッキとビビンバを食べました。

1057: 女房が教会で紡ぐ言葉に、教授は虚を突かれました。

1058: 次はディープに漁業をやると言いましたが、あれは撤回します。

1059: フーデェは、靴が脱げても、立派にゴールまで駆け抜けました。

1060: 貴方の配属部署は、イタリアのヴィチェンツァにある、フォーツァです。

1061: 三百の管が繋がるこのデバイスに、どんな秘密があるのだろう。

1062: 生粋のメジュゴリエ育ちで、パラディンを見たことが無いのです。

1063: 侍<sup>さむらい</sup>が、スィルヴァーサーにヒョイヒョイ<sup>い き</sup>行き来してたとは、ありえませぬ。

1064: 尊<sup>たつと</sup>い職<sup>しょくぎょう</sup>業<sup>ぎょう</sup>ですが、チェシュメでは給<sup>きゅうりょう</sup>料<sup>りょう</sup>が安<sup>やす</sup>いそうです。

1065: 邪魔<sup>じゃま</sup>されず旗手<sup>きしゅ</sup>をやれそうな、フェルスタッペンはどうでしょう？

1066: キョンデョがパンマルだと知<sup>し</sup>り、ギャロウェイは驚<sup>おどろ</sup>かされました。

1067: トゥアモトゥ諸<sup>しよとう</sup>島<sup>とう</sup>で、ギスギスした空<sup>くう</sup>気をリフレッシュしましょ。

1068: ヒメルビェアウエズへの旅<sup>りょこう</sup>行<sup>じ</sup>は、事故<sup>じこ</sup>で中<sup>ちゅう</sup>止<sup>し</sup>になりました。

1069: デャンフレス様<sup>さま</sup>、そろそろ目<sup>め</sup>を覚<sup>さ</sup>ましてくださいませ。

1070: 窮<sup>きゅうくつ</sup>屈<sup>くつ</sup>ですが、ヴコヴィッチの到<sup>とう</sup>着<sup>ちゃく</sup>ま<sup>ま</sup>までお待ちください。

1071: ギョニユルさん、パパッと掃<sup>そうじ</sup>除<sup>す</sup>を済<sup>きよくろ</sup>ませて、玉<sup>の</sup>露<sup>ろ</sup>でも飲<sup>の</sup>みましょ。

1072: リュドミルのアリバイが明<sup>あき</sup>らかにされ、反<sup>はん</sup>逆<sup>ぎやく</sup>の罪<sup>つみ</sup>から免<sup>まぬか</sup>れました。

1073: ギエレクはダイエットのため、ジャンクフ<sup>ぼくめつ</sup>ードを撲<sup>はく</sup>滅<sup>めつ</sup>したがつてます。

1074: ヴォイチェホフスキは、百<sup>ひゃっかん</sup>貫<sup>かん</sup>もの寿<sup>す</sup>司<sup>し</sup>をぺろりと平<sup>たい</sup>らげました。

1075: 休<sup>やす</sup>みを挟<sup>はさ</sup>むと、フィロメナも、動<sup>うご</sup>き<sup>にぶ</sup>が鈍<sup>にぶ</sup>りますね。

1076: 挫<sup>くじ</sup>けそうだったけど、シェベスチェーンと一<sup>いっしよ</sup>緒<sup>しよ</sup>に、僕<sup>ぼく</sup>も闘<sup>とう</sup>病<sup>びよう</sup>します。

1077: シャンゼリゼ通<sup>どお</sup>りを、シンプ<sup>れいきゅうしゃ</sup>ルな霊<sup>れい</sup>柩<sup>きゅう</sup>車<sup>しゃ</sup>が通<sup>つう</sup>過<sup>か</sup>しました。

1078: ウィッシュリストのジャワティ<sup>みし</sup>ーが、見<sup>み</sup>知<sup>し</sup>らぬ誰<sup>だれ</sup>かから贈<sup>おく</sup>られました。

1079: イークイノックスで、食<sup>しょく</sup>パンを二<sup>に</sup>斤<sup>きん</sup>購<sup>こう</sup>入<sup>にゅう</sup>しました。

1080: デイグビーの初<sup>しよげき</sup>撃<sup>げき</sup>が外<sup>はず</sup>れた隙<sup>すき</sup>で、緊<sup>きん</sup>迫<sup>ぱく</sup>したムードに包<sup>つつ</sup>まれました。

1081: 除<sup>じよ</sup>夜<sup>や</sup>の鐘<sup>かね</sup>が耳<sup>みみ</sup>障<sup>ざわ</sup>りだと、グイドッティがぷりぷり怒<sup>おこ</sup>ってます。

1082: ズィグムントは、所<sup>しよ</sup>得<sup>とく</sup>税<sup>ぜい</sup>を払<sup>はら</sup>い過<sup>す</sup>ぎており、還<sup>かん</sup>付<sup>ぶ</sup>金<sup>きん</sup>が戻<sup>もど</sup>りました。

1083: ジャッジは潔<sup>けつ</sup>白<sup>ぱく</sup>を示<sup>しめ</sup>したが、これを機<sup>き</sup>に悪<sup>あく</sup>癖<sup>へき</sup>を矯<sup>た</sup>めるべきですね。

1084: テュークスバリーは、御殿と呼ぶべき立派な家を所有してます。

1085: アンティークの机が届くのを、チョボトは待ち望んでいます。

1086: ヴィルペルトは、埼玉でヴィッティヒと遊ぶつもりです。

1087: ツェザーリが奏でるトランペットの音は、プロと遜色ありません。

1088: グアルティエロ氏のやり方って、要するにただの兵糧攻めですね。

1089: マテヤシェフスキーは、レビューレポートを見て、自虐気味に笑ってます。

1090: ウォヴィチで、パペット職人の、ペパーバーグを捕まえました。

1091: 雑煮を炬燵で食べると、冬の季節だと感じますね。

1092: リヤイチは、豚と肥料を使った武略を閃きました。

1093: ティベーリオと決別してから、長い歳月が経ちました。

1094: 京阪バスにプードルが紛れ込み、発車が遅れました。

1095: ヘンリーの絵は、ミュハンの絵と酷似しており、剽窃が疑われます。

1096: ピッチャーが肘を壊したのですから、ゲームはここまでにしましょう。

1097: 胸を反らして話すジャバーの言語は、ニンゴム語ですか？

1098: 讃岐うどんを、フィアットでファティマに配達しました。

1099: ルビーの鋼玉を目指し、シュヴァルツァハを旅する覚悟です。

1100: 紆余曲折あって、在日したと存じております。

1101: 頭の上を、風がビュービュー吹き抜けたと思ったが、気のせいかな？

1102: 竜巻が発生したので、ドゥーズィエムへの買い物はやめた。

1103: 足並みを乱すことに、チェルヴェンコフは過敏ですので、注意されたし。

1104: ニュヒーピングに、温泉は無いと聞かすが、与太話だろ。

1105: ぎょうぎ の つか いや こうかてき  
餃子と飲むエビスビールは、疲れを癒すのに効果的だ。

1106: がんこもの もぞうひん みと  
マドゥロは頑固者で、これがジャスパーの模造品だと認めない。

1107: おおさか どうとんぼり ぶた た  
ティシュキューヴィッチは、大阪の道頓堀で、豚まんを食べた。

1108: けう きやく と つつぬ  
稀有な客とのやり取りは筒抜けですよ、ジャコメッティさん。

1109: みずあめ つく ばくが ひやく ゆず  
水飴を作るため、ダミャンは、麦芽を百グラム譲ってもらった。

1110: えんご げつようび とつば  
エンツォが援護し、月曜日にはポドヴェルカを突破した。

1111: げんしょう しつおん あ ふはい  
フェーン現象で室温が上がり、リビングのデコポンが腐敗した。

1112: につか た  
シグルビエルンソンの日課は、ポークスペアリブを食べることだ。

1113: たくえつ ちから はつき  
ホームゲームでのヴェナブルズは、卓越した力を発揮した。

1114: しゅうでん のが と  
ミュルドウルも終電を逃してしまったのだから、泊めてあげなさい。

1115: かぞく せちづく  
ギリヤルメと家族は、お節作りのウォーミングアップをしている。

1116: とつぜんあくしゅ もと あわ  
突然握手を求められ、ベズーホッフは慌てふためく。

1117: さんみやく ふもと すひとひと あいさつ  
デュラック山脈の麓に住む人々に、挨拶しなきゃね。

1118: よ ふ はくりよく おんがく たの  
とっぷりと夜も更けたので、ミュフィデの迫力ある音楽を楽しむ。

1119: しんとう ふきょう むずか  
神道をキューバに布教したいのだが、やっぱり難しいだろうな。

1120: か ゆでん もら ま せつぷく し  
ジェズは、チャンプに勝てば油田を貰えるが、負けたら切腹で死ぬ。

1121: ぎやくさつ くわだ おとこ ほりよ  
ヴィジェーヴァノで、虐殺を企てた男が、捕虜になった。

1122: ひ がね ひ しゆくふく  
ウォンミョンが引き金を引けば、ゴッツォリは祝福される。

1123: もうれつ ひろ なぞ きびょう やつきよく ひへい  
猛烈に広がる謎の奇病に、薬局のエミリアは疲弊した。

1124: ぎゃつきょう み ごぶごぶ しょうこ かえ  
逆境に見えるが五分五分で、あの証拠があればひっくり返るぞ。

1125: ひやく しへい うめ か  
ニエズゴダは、百ドル紙幣で、梅とシポラタを買ってきた。

1126: ピネハスは<sup>きび</sup>厳しく<sup>はいりよ</sup>配慮にも<sup>か</sup>欠けるが、<sup>とうりょう</sup>棟梁のカリスマだ。

1127: キャンプではジャプカが<sup>はんちょう</sup>班長となり、チームを<sup>かんぺき</sup>完璧にまとめた。

1128: クエンティンの<sup>そこちから</sup>底力で、パーティの<sup>けっそく</sup>結<sup>つよ</sup>束が強められる。

1129: ねえねえシャフィークさん、<sup>さかな</sup>魚が<sup>すいりゅう</sup>ジェット水<sup>さかのぼ</sup>流を<sup>う</sup>遡ってるよ。

1130: 巢から<sup>す</sup>ぴよこ<sup>かお</sup>ぴよこ<sup>だ</sup>顔を出す<sup>ひな</sup>雛を見て、<sup>み</sup>ボグダンが<sup>きげん</sup>機嫌が<sup>なお</sup>直った。

1131: ボキャブラリーが<sup>ひんじゃく</sup>貧弱な<sup>いきお</sup>ズイーバーだが、<sup>しつびつ</sup>勢いよく<sup>しつ</sup>執筆する。

1132: あのデアナちゃんが<sup>どくりつ</sup>独立し、<sup>あた</sup>新しい<sup>ざっし</sup>雑誌を<sup>つく</sup>創るとはねえ。

1133: ゴネた<sup>あげく</sup>拳句に<sup>けいさつざた</sup>警察沙汰とは、<sup>がけ</sup>フィクレトも<sup>う</sup>崖っぷちかのう。

1134: ピエトリヤコフは、<sup>かる</sup>軽い<sup>びねつ</sup>微熱だが<sup>げねつざい</sup>解熱剤を<sup>の</sup>飲むことにした。

1135: えーと、このケチャップはややしよっぱいが、<sup>う</sup>売れるだろうね。

1136: グオルの<sup>かげき</sup>過激な<sup>ひょうか</sup>ポピュリズムには、<sup>ま</sup>評価が<sup>ぶた</sup>真<sup>わ</sup>っ二つに分かれた。

1137: デシュクイーは、<sup>こつきょう</sup>国境の<sup>まも</sup>守りを<sup>かた</sup>固め、<sup>かげき</sup>過激な<sup>げきたい</sup>テロでも<sup>う</sup>撃退できる。

1138: ポカポカの<sup>あたた</sup>温<sup>いぬ</sup>かさで、<sup>しつぽ</sup>犬が<sup>まる</sup>尻尾を<sup>ね</sup>丸めグウグウ寝てる。

1139: 母家が<sup>おもや</sup>焼けた<sup>や</sup>ゾルニツツァだが、<sup>はな</sup>離れは<sup>ぶじ</sup>無事だった。

1140: イヴギューニイは<sup>ずぬ</sup>頭抜けているが、<sup>やつ</sup>奴の<sup>だいたい</sup>代替<sup>え</sup>にはなり得ないだろ。

1141: ヴェンツェルの<sup>ぼうぎょ</sup>防<sup>かた</sup>御は<sup>め</sup>固いが、<sup>ぬす</sup>ギャラリーの<sup>くず</sup>目を<sup>ぬす</sup>盗めば<sup>くず</sup>崩せますよ。

1142: やい、<sup>ざっこくまい</sup>ピュプランジュでは、<sup>かく</sup>雑穀米が<sup>き</sup>隠れた<sup>き</sup>ブームって聞いたぞ。

1143: そりゃーベツツェッカや<sup>へんぐう</sup>ウェグアンが<sup>み</sup>辺<sup>わ</sup>偶かは、<sup>み</sup>見なきや<sup>わ</sup>分からぬよ。

1144: ポンポーニアは、<sup>じゃくれいぼう</sup>弱<sup>な</sup>冷房に<sup>へや</sup>慣れているので、この<sup>さむ</sup>部屋は<sup>さむ</sup>寒すぎかな？

1145: 峰打ちが<sup>みねうち</sup>浅い<sup>あさ</sup>おかげで、<sup>きぜつ</sup>トゥースイーは<sup>す</sup>気絶せず<sup>す</sup>済んだってことだ。

1146: <sup>かぜ</sup>風が<sup>ゆ</sup>揺れ、<sup>かお</sup>アロマディ<sup>とど</sup>フューザーの<sup>とど</sup>ほのかな<sup>とど</sup>香りが届く。

1147: ウォンヒョクが<sup>しゅつけ</sup>出家して<sup>ひさ</sup>久しいが、<sup>すこぶ</sup>頗る<sup>げんき</sup>元気だと<sup>き</sup>聞いとるよ。

1148: ぷよぷよに<sup>ま</sup>負けて<sup>げきど</sup>激怒したヨヨの<sup>ひょうじょう</sup>表情が、<sup>あたま</sup>頭から<sup>はな</sup>離れない。

1149: <sup>ねつ</sup>熱が<sup>さ</sup>冷めないなので、<sup>くすり</sup>ファーマシイで<sup>か</sup>薬を<sup>ほか</sup>買うが、<sup>か</sup>他に<sup>か</sup>買うものはある？

1150: <sup>おみごろも</sup>小忌衣を着た<sup>き</sup>ディオニュソスが、<sup>おも</sup>思ったより<sup>おも</sup>もは<sup>おも</sup>ま<sup>おも</sup>って<sup>おも</sup>たな。

1151: <sup>じゅんかつゆ</sup>潤滑油を<sup>は</sup>派手に<sup>は</sup>ぶち<sup>は</sup>ま<sup>は</sup>けたのは、<sup>は</sup>ウォシャウスキーなの？

1152: クトゥルフは、<sup>かくう</sup>ツアトゥグアなど、<sup>しんわたいけい</sup>架空の<sup>じゅりつ</sup>神話体系を<sup>じゅりつ</sup>樹立したんだぜ。

1153: ツィガーニによると、<sup>ぶぞく</sup>部族の<sup>ぐたいてき</sup>具体的な<sup>か</sup>狩り<sup>ふめい</sup>パターンは<sup>ふめい</sup>不明だぞ。

1154: タステョベにいる<sup>でんか</sup>殿下に、<sup>みつぎもの</sup>貢物を<sup>おく</sup>ピシピシ<sup>おく</sup>送るべし。

1155: カーテャは、<sup>ひぎしゃ</sup>被疑者に<sup>かか</sup>関わるので、<sup>ちゅういぶか</sup>注意<sup>み</sup>深く<sup>み</sup>見張<sup>み</sup>ってくれ。

1156: ざっくり<sup>の</sup>述べると、<sup>ぐちよく</sup>愚直に<sup>どりよく</sup>努力を<sup>つづ</sup>続けたが、<sup>ほろ</sup>滅ぼされた。

1157: <sup>じゃ</sup>蛇の<sup>みち</sup>道は<sup>へび</sup>蛇であるなら、<sup>き</sup>ピペットのことも<sup>き</sup>プロに<sup>き</sup>訊くべきだ。

1158: <sup>ばぬし</sup>ビヤルヌって<sup>ほうもん</sup>馬主の<sup>いっしょ</sup>ところに<sup>いっしょ</sup>訪問するから、<sup>いっしょ</sup>一緒に<sup>いっしょ</sup>きたまえ。

1159: <sup>かぜ</sup>風の<sup>つよ</sup>強い<sup>まち</sup>街へ<sup>い</sup>行き、<sup>がっき</sup>楽器を<sup>えんそう</sup>デューンと<sup>えんそう</sup>演奏した。

1160: <sup>よき</sup>予期せぬ<sup>きつぽう</sup>吉報に、<sup>おも</sup>ジョセファは<sup>ばんざい</sup>思わず<sup>ばんざい</sup>万歳した。

1161: なあ、<sup>さんみやく</sup>ポーキュパイン<sup>けむり</sup>山脈から、<sup>た</sup>煙が<sup>のぼ</sup>立ち上<sup>のぼ</sup>ってるぞ。

1162: <sup>あす</sup>明日は<sup>つ</sup>ヴィコフォルテで<sup>く</sup>釣るが、<sup>く</sup>ポルピュリオスは<sup>く</sup>来るかな。

1163: <sup>ちゅうやぎゃくてん</sup>キャンテュは、<sup>きょうせい</sup>昼夜逆転の<sup>と</sup>矯正に<sup>く</sup>取り組み、<sup>にっちゅうねむけ</sup>日中眠気と<sup>たたか</sup>戦う。

1164: <sup>ぶきかんしょう</sup>ファニャーノは<sup>しゅみ</sup>武器鑑賞が<sup>とくべつこの</sup>趣味で、<sup>とくべつこの</sup>ヴィサヤの<sup>とくべつこの</sup>ピヌティを<sup>とくべつこの</sup>特別好む。

1165: <sup>はな</sup>ポリュペーモスは<sup>ばしら</sup>鼻っ<sup>つよ</sup>柱が<sup>しりょう</sup>強かったか、<sup>のこ</sup>資料は<sup>のこ</sup>残ってない。

1166: <sup>く</sup>ゾネフェルトが<sup>あわ</sup>ヘルプに<sup>きぼう</sup>来る、<sup>す</sup>淡い<sup>す</sup>希望は<sup>す</sup>まだ<sup>す</sup>捨て<sup>す</sup>きれぬ。

1167: <sup>ほくい</sup>ペフリヴァンキョイの<sup>よんじゅういちど</sup>北緯は、<sup>おも</sup>四十一度<sup>おも</sup>だったと思<sup>おも</sup>うぞ。



1168: 床で座禅ゆか ざぜん くを組んでたら、にゃんこがすり寄よってきた。

1169: 陸尉りくゐのディーンは、映画の演えいが えんしゅつ出じぶんにより、自分のことをデョーンと呼ぶよ。

1170: 彼はかれ だいみょう しそん大 名の子孫で、料理りょうり た すを食べ過ぎメタボだそうだ。

1171: 漁獲量ぎょかくりょうが減へったのは、技術ぎじゅつではなく漁業ぎょぎょうぜんたい全体の悩みだぞ。なや

1172: ヴチュコヴィッチさん、証書しょうしょでは、壺いちという字じを使うつかのじゃよ。

1173: 職場しょくばでクァジモドが倒たおれたと聞いたが、やっぱ疲弊ひへいしてたんだな。

1174: ざっくばらんに言いうと、明日は検尿あす けんにょうがあるってこった。

1175: グェリンはポジティブだが、邪魔じゃまされ悔くやしい思おもいもしてる。

1176: パヴァロッティの秘術ひじゅつには、ローズクォーツが不可欠ふかけつらしい。

1177: 母校を辱ぼこう はずかしめるとウエゲナーは逃にげたが、気きにしすぎだろう。

1178: デュフロの渋い選曲しぶ せんきょくに、ウォーザーは茶目ちゃめっ気けを覚おぼえる。

1179: ここを臨眺りんちょうする場所とは認めぬと、ポリュカルポスは譲ゆずらなかった。

1180: ペパーミントとニョッキのマリアージュが、物議ぶつぎを醸かもしている。

1181: 星座探せいざさがしは楽たのしくて、今いまはベチュヴァーシュをさが探さがしてるんだ。

1182: ミェジェライティスは、ポツパエアを舍弟しゃていにすべく、ユポ紙し もを持もってきた。

1183: 感極かんきわまったデュパルクは、栄誉えいよとともにイエーイと叫さけぶ。

1184: エンジェルを仏門ぶつもんに帰依きえさせようとは、ヒューイも無茶むちゃを考かんがえる。

1185: 執事しつじのブロディが、ヴァズとバシャバシャ水浴みずあびして遊あそぶ。

1186: ピヤストの脈みやくが一瞬いっしゅんみだ乱れ、手術しゅじゅつは延期えんきとなった。

1187: これは、スペルクボグイの存続そんぞくに係かかる、由々ゆ ゆしき疑獄ぎごくだろ？

1188: ああ、ウィニペグジェットについては、欄外らんがいに記述きじゅつしてください。

- 1189: 弱<sup>じゃくしゃ</sup>者<sup>しや</sup> っぽいからと、パシュウィツを<sup>あなど</sup> 侮<sup>あ</sup>ると、碌<sup>ろく</sup>な目<sup>め</sup>に合<sup>あ</sup>わないからな。
- 1190: ヴァヴリネックは<sup>ぶんせきけつか</sup> 分析結果<sup>み</sup>を見て、<sup>おぞけ</sup> 怖気<sup>と</sup>が止まらない。
- 1191: シェップエルは<sup>せいざ</sup> 星座<sup>ばしよ</sup>の場所<sup>もと</sup>に基<sup>すす</sup>づき、<sup>ほうがく</sup> 進む方<sup>けつ</sup>角<sup>い</sup>を決意したのさ。
- 1192: ペテンに<sup>か</sup> 掛<sup>つ</sup>けて、ペイシェンスをゾーニョから<sup>さ</sup> 連<sup>さ</sup>れ去った。
- 1193: 文<sup>ぶんしょう</sup>章<sup>ととの</sup>を 整<sup>さぎょう</sup>える作<sup>さぎょう</sup>業<sup>さぎょう</sup>は、ジュヌビエーブが担<sup>たんとう</sup>当<sup>たんとう</sup>する。
- 1194: ギュルヴィッチは、<sup>しゃへん</sup> 斜<sup>かくど</sup>辺<sup>かくど</sup>と<sup>ぞうけい</sup> 角<sup>うつく</sup>度<sup>ちかく</sup>から、<sup>ちかく</sup> 造<sup>ちかく</sup>形<sup>ちかく</sup>の 美<sup>ちかく</sup>しさを知覚できる。
- 1195: ペニユエルに<sup>そそのか</sup> 唆<sup>しゅつぽん</sup>され、<sup>き</sup> 出<sup>き</sup>奔<sup>き</sup>を決めたのはスホニユだよ。
- 1196: ゾッティの<sup>けねん</sup> 懸<sup>けねん</sup>念<sup>けねん</sup>は、フィレンツェでパッパルデッレにありつけるかである。
- 1197: 罪<sup>つみ</sup>を憎<sup>にく</sup>んで人<sup>ひと</sup>を憎<sup>にく</sup>まず、ヴァシリエヴィッチを憎<sup>にく</sup>んでも、<sup>しかた</sup> 仕<sup>しかた</sup>方がないぜ。
- 1198: それは<sup>ちようじょう</sup> 重<sup>ちようじょう</sup> 畳<sup>ちようじょう</sup>とヘインチェは<sup>つぶや</sup> 呟<sup>つぶや</sup>き、ゼフィリヌスと<sup>とも</sup> 共<sup>とも</sup>に去った。
- 1199: 売<sup>う</sup>ると決<sup>き</sup>めたのだから、クウクウ言<sup>い</sup>わずにチャッチャとやっちまおう。
- 1200: ヴォルヴェーラのジェプセンは<sup>りはつ</sup> 利<sup>りはつ</sup>発<sup>りはつ</sup>だが、ディベートすると<sup>まれ</sup> 稀<sup>まれ</sup>に<sup>ごびゅう</sup> 誤<sup>ごびゅう</sup> 謬<sup>ごびゅう</sup>がある。